

学校法人朴沢学園中期経営計画進捗報告(第3回、2021(令和3)年度)

中期経営計画期間は2019(令和元)年度から5年間であり、初年度の進捗を下記のとおり報告するものである。

(評価 ○:評価有 △:評価不十分 ×:未実施)

目標	進捗		次年度以降取組
	評価	概要	
<全体>			
○学生・生徒確保 (大学:入学定員×1.15) (高校:入学定員)	△	①大学:646名、入学定員×1.08 ②高校:294名入学<入学定員(330名)	①HP等による情報発信力の強化 ②高大接続、附属高校化 ③教職員によるブランド力強化
<個別・大学>			
1. 教育・研究			
(1)カリキュラム改革	○	①Society5.0社会で活躍できる人材育成を目指して、数理・データサイエンスに関する科目新設検討 ②英語教育改革の深化、高大接続教育の促進継続 ③既存の関連科目の整理	○継続案件の実施 (スリム化、防災教育の発展、ICT対応等)
(2)教員養成の強化	○	○「教採塾」を通し教員養成実施 (令和3年度合格者56名内新卒20名)	○「教採塾」の深化
(3)英語教育改革	○	①プレースメントテスト、習熟度教育の継続実施し、テキストの刷新 ②オンライン語学学習支援システムを学内外から利用できるようにシステム変更を行った。	○英語教育の質向上への取組み ○オンライン留学の実施模索
(4)UNIVASへの積極的取り組み	○	①組織作りは実施済みである。 ②情報発信専用HP「仙スポ」を開設した。 ③入学前プログラムの導入を行った。 ④「スポーツソムリエ」の主旨を踏まえた地域貢献活動を進めた。	①地域貢献に重点を置いた取組みの継続 ②入学前プログラム導入演習を継続実施
(5)高校・大学の7年教育の取り組み	○	①附属高校化認可後2年目 ②7年教育前提の人員配置	○実効性のある取り組みとして学生・生徒確保の実現

2. 東京オリンピック・パラリンピックへの取り組み			
(1)オリンピック・パラリンピック選手輩出	○	①オリンピック選手輩出(既卒) ②大学の知見を活かし学生・教職員は、大会運営及び栄養管理等のスポーツを「見る」「支える」側面で活躍	○継続して全学的に取り組み選手輩出の実現
(2)ホストタウン招聘	○	○ホストタウン事業への協力としての親善大使活動支援の実施	
(3)ポスト東京を睨んだ大学教員の指導者派遣	×	○コロナ禍で未取り組み	○コロナ感染状況を見定めて取り組む。
3. 地域連携			
(1)宮城県支援事業を通じた地域連携	○	○8自治体と連携事業を行い、亶理町及び富谷市と包括連携協定を締結	○継続して拡大取り組み実施
(2)プロスポーツとのアカデミックパートナー連携	○	①仙台89ERS,ベガルタ仙台、楽天野団と実施 ②新たに「マイナビフットボール」と締結実施	○継続して拡大取り組み実施
(3)近隣市町村との連携	○	①現場実習を兼ね高齢者介護予防、成人の健康実践指導実践 ②新たに富谷市、亶理町と包括連携協定締結	○継続して取り組み実施
(4)民間企業等と連携	○	①JAXA.アイリスオーヤマ、リコージャパン等と職場内健康問題等解決連携 ②「仙南地域におけるスポーツ活性化支援コンソーシアム」を立ち上げによる官学連携取り組み	①継続して連携拡大取り組み実施 ②柴田町、尚絅学院大学と協働した「地域防災人材育成プログラム」の継続取り組み ③仙台長町地区拠点(ゼビオアリーナ仙台)の活用
4. 国際交流			
(1)学生の提携大学等への派遣	×	○コロナ禍で中止	①コロナ感染状況を見定め再開検討 ②カンタベリー大学とオンラインによる交流の模索(防災面等)
(2)新たな提携先拡大	○	○カンタベリー大学(ニュージーランド)連携協定締結	○継続して取り組み実施

5. 学生募集・就職支援			
(1)学生募集の強化	○	①WEB出願実施、同窓会連携強化 ②高校訪問専担者設置 ③尚綱学院大学、聖和学園高校に続いて、新たに宮城教育大学、星学院高校と連携協定締結 ④女子寮(100室)設置	①高校訪問専担者による情報の収集および発信強化 ②女子硬式野球部の創部検討 ③学生確保のため附属高、指定高、連携高との深耕実践
(2)就職支援の強化	○	○就職支援取り組み時期の繰り上げ開始実施	①継続して強化策の取り組み実施 ②同窓会との連携強化
6. 研究費の外部資金獲得	△	○十分な実績を上げることができなかった。	○継続して獲得を目指す。
7. 施設整備			
(1)陸上競技場2レーン増設工事	○	○竣工	
(2)野球場の人工芝化	○	○竣工	
(3)川平地区再整備事業 (仙台地区拠点)	○	○第二期建築工事に着工した。 (令和4年1月)	○第二期建築工事は、令和4年10月竣工予定
<個別・高校>			
(1)学科再編の実行	○	○新学科(スポーツ創志科)新設2年目	○魅力ある学校作りを継続して取り組み実践
(2)大学の連携強化	○	①仙台大学附属高校化2年目 ②大学教員の配置、授業実施	○継続し7年教育の取り組み実践
<個別・法人>			
(1)コンプライアンス重視の職場づくり	○	①諸規定整備への継続的取り組み ②関連法律等改正への適時対応	○継続した取り組み実践
(2)安定した継続可能な財務基盤の構築	○	○「事業活動収支見込み」に則している。	○継続して改善を図っていく。
(3)川平地区再整備事業の実施	○	○第二期建築工事は、令和4年1月着工した。	○第二期建築工事は、令和4年10月竣工予定
(4)創立140周年事業の実施	○	①記念式典、関連歴史編纂 ②裁縫教育資料データベースの新設 ③創立140周年記念募金活動開始 (令和元年12月～)	○継続して募金活動の実施

事業活動収支見込み

(単位:人、百万円)

			令和3年度決算(A)	中期計画(令和3年度 B)	A-B
学生数/生徒数	大学/大学院	学生数(*1)	2,642	2,698	△ 56
		(収容定員)	(2,542)	(2,542)	0
	高校	生徒数(*1)	855	900	△ 45
		(収容定員)	(990)	(990)	0
教育活動収支	教育活動収入		4,842	4,715	127
	学納金		3,709	3,773	△ 64
	経常費等補助金		890	670	220
	教育活動支出		4,771	4,686	85
	人件費		2,806	2,863	△ 57
	教育研究費		1,519	1,395	124
	管理経費		437	420	17
	教育活動収支差額		71	29	42
教育活動外収支	教育活動外収入		1	1	0
	受取利息・配当金		1	1	0
	教育活動外支出		12	14	△ 2
	借入金等利息		12	14	△ 2
	教育活動外収支差額		△ 11	△ 13	2
経常収支差額			60	16	44
特別収支差額			15	0	15
基本金組入前当年度収支差額			75	16	59

*1: 在籍者数(5/1)を中退率で補正 *2: 令和2年4月 入学定員(330名)変更